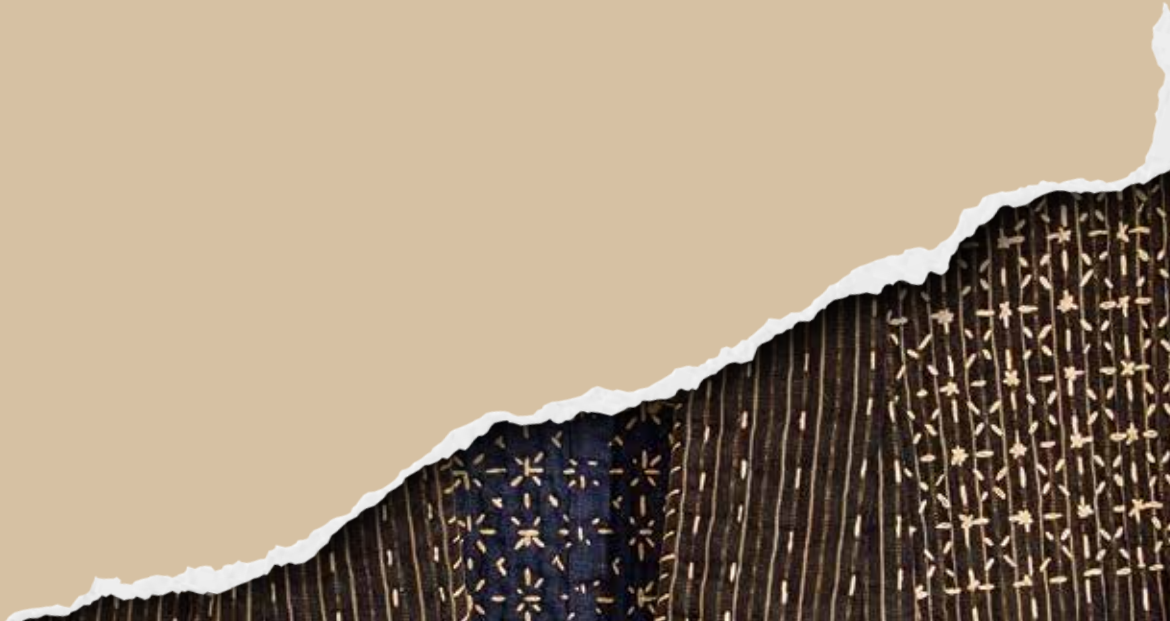


# III

資料編



# 1 明石市立文化博物館条例 平成3年3月28日条例第3号

(設置)

第1条 歴史、民俗等に対する市民の理解を深めるとともに、市民の文化の向上及び振興に資するため、本市に文化博物館を設置する。

(位置及び名称)

第2条 文化博物館の位置及び名称は、次のとおりとする。  
位置 明石市上ノ丸2丁目13番1号  
名称 明石市立文化博物館(以下「文化博物館」という。)

(事業)

第3条 文化博物館は、次の各号に掲げる事業を行う。  
(1) 歴史、民俗等に関する実物、複製、模写、図書、写真、フィルム等の資料(以下「博物館資料」という。)に関する調査及び研究  
(2) 博物館資料の収集、保管及び展示  
(3) 展覧会、講演会、講習会、研究会等の開催  
(4) 市民の文化に関する展示、集会等のための施設の提供  
(5) 前各号に掲げるもののほか、文化博物館の設置の目的を達成するために必要な事業

第4条 削除

(観覧料)

第5条 博物館資料を観覧しようとする者(以下「観覧者」という。)は、別表第1に定める額の観覧料を納付しなければならない。ただし、特別の展示(以下「特別展」という。)をしたときの観覧料は、2,000円以内で市長が定める額(中学生、小学生及び小学校就学前の者は、無料とする。)とする。  
2 市長は、年間観覧券その他の規則で定める特別利用券を、4,000円以内で市長が定める額で発行することができる。

(使用許可及び使用料)

第6条 ギャラリー、大会議室及び駐車場を使用しようとする者は、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。許可された事項を変更しようとするときも同様とする。  
2 前項の許可を受けた者(以下「使用者」という。)は、別表第2に定める使用料を前納しなければならない。ただし、市長が特に認めるときは、この限りでない。  
3 市長は、使用を許可する場合において、管理上必要な条件を付けることができる。

(使用の不許可等)

第7条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、前条第1項の使用を許可せず、入館若しくは観覧を拒み、又は退館を命ずることができる。  
(1) 博物館資料又は施設等を損傷するおそれがあると認めるとき。  
(2) 他人に危害を及ぼし、若しくは迷惑となる行為をするおそれのあるとき又はこれらのおそれのある物品、動物等を携帯するとき。  
(3) 専ら営利を目的とした事業を営むとき。  
(4) その他文化博物館の管理上支障があると認めるとき。

(観覧料等の減免)

第8条 市長は、規則で定める事由があるときは、第5条第1項に規定する観覧料及び第6条第2項に規定する使用料を減額し、又は免除することができる。

(観覧料等の還付)

第9条 既納の観覧料及び使用料は、還付しない。ただし、規則で定める事由があるときは、これらの全部又は一部を還付することができる。

(使用権譲渡等の禁止)

第10条 使用者は、文化博物館の使用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(使用許可の取消し等)

第11条 市長は、使用者が次の各号のいずれかに該当するときは、使用の許可を取り消し、又は使用の停止を命ずることができる。  
(1) この条例若しくはこれに基づく規則又は使用許可の条件に違反して使用するとき。  
(2) 偽りその他不正の手段により使用の許可を受けたとき。  
(3) その他管理運営に支障を生じさせたとき。  
2 前項の場合において、使用者に損失が生じても、市は、その補償の責任を負わない。

(特別の設備の承認)

第12条 使用者は、特別の設備を使用しようとするときは、あらかじめ市長の承認を受けなければならない。

(原状回復義務)

第13条 使用者は、文化博物館の施設等の使用を終えたとき又は第11条第1項の規定により、使用許可の取消し若しくは使用の停止を受けたときは、直ちに、市長の指示に従い、当該施設等を原状に回復しなければならない。  
2 使用者が前項の義務を履行しないときは、市長がこれを行い、その費用を使用者に請求することができる。

(使用者等の管理義務)

第14条 使用者は、使用期間中その使用に係る文化博物館の施設等を善良な管理者の注意をもって管理しなければならない。  
2 使用者、観覧者その他文化博物館の利用者は、故意又は過失により文化博物館の施設等又は博物館資料を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、これを原状に回復し、又はその損害額を賠償しなければならない。ただし、市長が特別の事由があると認めるときは、この限りでない。

(立入り等)

第15条 市長は、管理上必要があると認めるときは、使用を許可した場所に立ち入り、関係者に質問し、又は必要な指示をすることができる。

(指定管理者による管理)

第16条 市長は、文化博物館の管理について地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定による市長の指定を受けた者(以下「指定管理者」という。)に、文化博物館の管理を行わせることができる。  
2 前項の規定により、指定管理者に文化博物館の管理を行わせている場合における第6条第1項及び第3項、第7条、第11条第1項、第12条、第13条並びに前条の規定の適用については、これらの規定(前条を除く。)中「市長」とあるのは「第16条第1項に規定する指定管理者」と、前条の規定中「市長」とあるのは「次条第1項に規定する指定管理者」とする。

(指定管理者が行う管理の基準)

第17条 指定管理者は、この条例及びこれに基づく規則の規定に従い、文化博物館の管理を行わなければならない。  
2 休館日及び開館時間は、規則で定めるところによる。ただし、指定管理者は、市長の承認を得て、開館時間を変更し、又は臨時に開館し、若しくは休館することができる。

(指定管理者が行う業務の範囲)

第18条 指定管理者が行う業務の範囲は、次のとおりとする。

- (1) 第3条に規定する事業
- (2) 文化博物館の利用及びその制限に関すること。
- (3) 文化博物館の観覧料及び使用料の徴収、減額、免除及び還付に関する業務
- (4) 文化博物館の維持管理に関する業務
- (5) 前各号に掲げるもののほか、市長が定める業務

(利用料金制)

第19条 市長は、第16条第1項の規定により指定管理者に文化博物館の管理を行わせる場合、博物館資料の観覧並びにギャラリー、大会議室及び駐車場の使用に係る料金（以下「利用料金」という。）を当該指定管理者の収入として収受させることができる。

- 2 前項の規定により利用料金を指定管理者の収入として収受させる場合においては、観覧者及び使用者は、指定管理者に利用料金を支払わなければならない。
- 3 前項に規定する利用料金の額は、博物館資料の観覧については別表第1に定める観覧料の額の範囲内において、ギャラリー、大会議室及び駐車場の使用については別表第2に定める使用料の額の範囲内において、特別展の観覧については第5条第1項ただし書に規定する観覧料の額の範囲内において、それぞれ指定管理者があらかじめ市長の承認を得て定める額とする。
- 4 指定管理者は、市長の承認を得て、年間観覧券その他の特別利用券を発行することができる。この場合において、特別利用券の額は、第5条第2項に規定する観覧料の額の範囲内において、指定管理者があらかじめ市長の承認を得て定める額とする。
- 5 指定管理者は、第8条の規定に準じて、利用料金を減額し、又は免除することができる。
- 6 指定管理者は、第9条の規定に準じて、利用料金を還付することができる。
- 7 第5条、第6条第2項及び前条第3号の規定は、第1項の規定により利用料金を指定管理者の収入として収受させる場合には、適用しない。

(委任)

第20条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

別表第1（第5条関係）

観覧料

区 分		一般観覧料	団体観覧料 (20人以上)
常設展示観覧	大人	200円	160円
	大学・高校生	150円	120円

備考

- 1 「常設展示観覧」とは、文化博物館が平常的に展示する博物館資料の観覧をいう。
- 2 「大人」とは、大学・高校生、中学生、小学生及び小学校就学前の者以外の者をいう。
- 3 「大学・高校生」とは、大学、高等学校及びこれらに準ずるものに在学する者をいう。
- 4 中学生、小学生及び小学校就学前の者については、観覧料を徴収しない。

別表第2（第6条関係）

使用料

使用区分		午前	午後	夜間	午前・午後	午後・夜間	全 日	
		午前9時から 正午まで	午後1時から 午後5時まで	午後6時から 午後9時まで	午前9時から 午後5時まで	午後1時から 午後9時まで	午前9時から 午後9時まで	
ギャラリー	全室	平日	4,200円	5,600円	4,200円	9,800円	9,800円	14,000円
		土・日・休日	4,800円	6,400円	4,800円	11,200円	11,200円	16,000円
	半室	平日	2,100円	2,800円	2,100円	4,900円	4,900円	7,000円
		土・日・休日	2,400円	3,200円	2,400円	5,600円	5,600円	8,000円
大会議室	平日	1,800円	2,400円	1,800円	4,200円	4,200円	6,000円	
	土・日・休日	2,100円	2,800円	2,100円	4,900円	4,900円	7,000円	
駐車場	1台1時間につき100円。この場合において、その使用時間に1時間未満の端数があるときは、これを1時間に切り上げて計算する。ただし、1日1回当たりの駐車場の使用料の額が1,000円を超える場合は、1,000円とする。							

備考

- 1 附属設備の使用料は、1時間につき800円以内で規則で定める。
- 2 「休日」とは、国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日をいう。

## 2 明石文化芸術創生条例

平成21年3月30日条例第1号

文化芸術は、人びとの心の糧として、市民一人ひとりが生きる喜びを感じながら心豊かに生活していくうえで欠かすことのできない大切なものです。また、人と人との心のつながりや、相互に理解し、尊重し合う土壌を提供するものであり、人びとが協働し、ともに生きる社会の基盤となります。とりわけ、次代を担う子どもたちが、心や感性、創造性やコミュニケーション能力を育てていくうえで、文化芸術は重要な役割を果たします。

私たちのまち明石は、古くから海陸交通の要衝であり、自然に恵まれた風光明媚な地として有名です。また、日本標準時子午線が通る「時のまち」としても知られています。

たい、たこなど海の幸を豊かに育み、雄大な明石海峡大橋が架かるかけがえのない海、国指定史跡である明石城跡などには、豊かな自然と歴史が色濃く残っています。

明石は、万葉の昔より柿本人麻呂など多くの歌人らに詠まれ、源氏物語をはじめ多くの文芸作品の舞台となり、現代まで有名な文人、芸術家はその活動の足跡を数多く残しています。また、先人たちが、様々な人びととの交流の中で培ってきた多様な文化芸術が地域に根付いています。

このように先人たちが大切に守り、育ててきた多様な文化の土壌を継承し、発展させ、新たな文化芸術を創造することは、明石に暮らし、働く私たちの願いです。

この願いをかなえ、一人ひとりが、生き生きと、心豊かでうるおいとやすらぎのある暮らしを送り、活力ある社会の実現につなげていくことが求められています。

ここに、市民の自主性を尊重し、市民、団体等及び市が連携しつつ、文化芸術のすそ野の拡大と、魅力ある文化芸術の創造と発展を目指し、この条例を制定します。

### (目的)

第1条 この条例は、文化芸術に関する基本的な理念及び方向性を示すことにより、明石の特性や人びとの個性を尊重した文化芸術の振興を図り、もって心豊かでうるおいとやすらぎのある市民生活と個性豊かで活力のある地域社会の実現及び地域を支える人づくりに寄与することを目的とする。

### (定義)

第2条 この条例において「文化芸術」とは、文化芸術基本法(平成13年法律第148号)が対象とする文化芸術その他の多様な文化領域を含むものをいう。

2 この条例において「文化芸術活動」とは、文化芸術を鑑賞し、これに参加し、又はこれを創造する活動をいう。

3 この条例において「団体等」とは、企業、教育機関、NPO(特定非営利活動促進法(平成10年法律第7号)第2条第2項に規定する特定非営利活動法人をいう。以下同じ。)、文化団体、中間支援組織(NPOを支援するNPOその他の組織をいう。)等をいう。

### (基本理念)

第3条 文化芸術の振興に当たっては、市民一人ひとりの自主性及び創造性が尊重されなければならない。特に、市は、文化芸術の振興に関する施策の実施に当たっては、文化芸術の内容に対して、介入し、及び干渉することのないよう細心の注意を払わなければならない。

2 文化芸術の振興に当たっては、過去から培われてきた地域の文化や芸術を市民の財産として継承し、発展させるとともに、魅力ある新しい文化芸術が創造されるよう配慮されなければならない。

3 文化芸術の振興に当たっては、文化芸術活動が市民の権利であることとらえ、市民が等しく文化芸術活動ができるような環境の整備が図られなければならない。

4 文化芸術の振興に当たっては、市民一人ひとりの多様な文化芸術及び価値観を理解し、尊重することにより、互いの文化芸術の発展が図られるよう配慮されなければならない。

5 文化芸術の振興に当たっては、文化芸術を担う人材の育成が図られなければならない。

6 文化芸術の振興に当たっては、次代を担う子どもたちの心や感性、創造性やコミュニケーション能力を豊かに育むことができるよう配慮されなければならない。

### (市民の役割)

第4条 市民は、自らが文化芸術を担う主体であることを自覚し、様々な文化芸術活動を行うことにより文化芸術の振興に寄与するとともに、相互に理解し、尊重し、交流を深めるよう努めるものとする。

### (団体等の役割)

第5条 団体等は、地域社会の一員として、自主的に文化芸術活動を展開するとともに、市民の文化芸術活動の支援に努めるものとする。

### (市の役割)

第6条 市は、第3条の基本理念にのっとり、文化芸術の振興に関する施策を総合的に策定し、実施するものとする。

2 市は、文化芸術の振興に関する施策を実施するため、必要な財政上の措置を講ずるよう努めるものとする。

3 市は、文化芸術活動で顕著な成果を収めた者及び文化芸術の振興に寄与した者の顕彰に努めるものとする。

### (市民等の共通の役割)

第7条 市民、団体等及び市は、相互に連携し、協働し、及び人材、情報その他の資源を生かし、共に文化芸術の振興に努め、特に、次代を担う子どもたちが文化芸術に親しむことができるよう心をくばるものとする。

### (基本施策)

第8条 市は、多様な文化芸術の振興を図るため、地域に根ざした伝統的な文化芸術の継承及び発展並びに新しい文化芸術の創造に必要な施策を講ずるよう努めるものとする。

2 市は、市民の文化芸術に対する関心及び理解を深めるとともに、文化芸術活動の充実を図るため、文化芸術活動の場及び機会の拡充その他の必要な施策を講ずるよう努めるものとする。

3 市は、市民の文化芸術活動の推進に資するため、文化芸術に関する情報の収集及び提供その他の必要な施策を講ずるよう努めるものとする。

4 市は、文化芸術活動を担う人材の育成を図るため、必要な施策を講ずるよう努めるものとする。

5 市は、特に、次代を担う子どもたちの豊かな人間性を育むため、文化芸術活動の場及び機会の充実その他の必要な施策を講ずるよう努めるものとする。

### (基本計画の策定)

第9条 市長は、文化芸術の振興に関する施策の総合的な推進を図るため、文化芸術の振興に関する基本計画(以下「基本計画」という。)を策定するものとする。

2 市長は、基本計画を策定するに当たっては、市民の意見を反映することができるよう、必要な措置を講ずるものとする。

3 市長は、基本計画を策定したときは、速やかに、これを公表しなければならない。

4 前2項の規定は、基本計画の変更について準用する。

### 3 文化博物館に関連する明石市の主要計画等

- ①あかしSDGs推進計画 2022(R4).3策定 2022～2030年度  
 ○計画策定の背景に、明石の歴史背景（万葉の歌、源氏物語、明石城、城下町）  
 ○まちづくりの方向性に、「明石の歴史、文化などの地域資源は暮らしやすいまちとしての大きな魅力」  
 ○施策展開の5つの柱「5まちの魅力を高め、活力と交流を生み出す」  
 まちの宝物を生かす 文化の薫るまちの推進  
 展開の方向2 豊かな心を育む文化・芸術の推進  
 ・歴史のまち明石の推進（文化博物館や文化財収蔵庫を拠点とした歴史・文化の発進など）  
 ・文化・芸術の推進（あかし若手アートチャレンジ、ARTSHIP明石等の様々なジャンルの活動や交流ができる環境の整備など）  
 展開の方向3 まちの魅力を生かした賑わいの創出  
 ・歴史・文化が薫る明石公園などの地域資源を活かし、明石の魅力を国内外に積極的に発信することで、明石の認知度や関心を高め、交流人口・関係人口の増加、地域活力を向上
- ②明石文化芸術創生基本計画 2023(R5).3 2023～2030年度  
 計画で示されているぶんばくの取組を〔 〕で示しています。  
**【推進体制】**  
 (1)市文化芸術に係る政策全般の企画・立案 財団への財政支援、財団・関係機関との連携強化  
 (2)明石文化国際創生財団の組織としての活動と自らの取組  
 (3)市民会館等の指定管理者が文化芸術活動の拠点として文化芸術を鑑賞・発表する場の提供  
**【2030年の目標】**  
 1年間に文化芸術活動をした人の割合33%（美術鑑賞を含む）  
**【展開方針】**  
 (1)市民による文化芸術活動のさらなる充実  
 ①多様な文化芸術の鑑賞機会の創出  
 ②身近な場所で文化芸術に触れる機会の創出  
 ③市民が自ら取り組める文化芸術事業の推進  
 ④障害者の文化芸術活動の促進〔アートシップ明石〕  
 ⑤在住外国人が日本文化に親しみ、理解を深める取組推進  
 (2)文化芸術活動充実のための環境整備  
 ①文化芸術活動の成果を発表する機会の創出  
 ②文化施設の柔軟な運営の推進〔小中学生無料、年間パスポート〕  
 ③様々な施設を文化芸術活動の場として有効活用  
 ④市民の自主性と創造性を尊重した文化芸術活動への支援  
 ⑤文化芸術に関する情報の収集・集約、効果的な発信  
 (3)文化交流の促進と連携体制の強化  
 ①異分野・異世代間の交流、市民とアーティストとの交流の推進  
 ②姉妹都市、友好都市等との国際文化交流の推進  
 ③中間支援組織の機能強化  
 ④文化観光を始めとする他分野との連携の強化  
 (4)地域特有の文化資源の継承と発展  
 ①地域の伝統文化を守り、継承し、活用する取組の推進  
 ②地域の文化資源に親しみ、わがまちへの愛着を深める取組の推進  
 ③文化芸術に関する地域の人材の活用  
 ④特色ある文化芸術事業への支援  
 (5)次世代の育成  
 ①子どもたちに向けた文化芸術鑑賞機会の創出〔中学生以下無料〕  
 ②子どもたちが参加・体験できる文化芸術事業の推進  
 ③次世代の文化芸術活動への支援
- ③生涯学習ビジョン 2022(R4).4策定 2022～2032年度  
 生涯学習プランでぶんばくは学びの拠点とされています。  
 ・「社会教育」から「生涯学習」へ  
 ・市内の様々な拠点が、学びの入り口になっていることを意識し、それぞれの特色を生かした事業や取り組みの展開を行う（博物館を含むような施設で）  
 ・学びの拠点（文化博物館）で充実させたい・重点を置く主な機能  
 生涯学習の取り組みを進めていくため、生涯学習関係施設において次の5つの機能の充実を図る
- 基本方針5. 生涯学習関係施設で充実させたい機能  
 ○学びのプロセスを作る  
 学びの入り口（学びに触れる）支援  
 学びの展開（次の学びに出会う）への支援  
 ○市全域での学びの支援・コーディネーター  
 学習提供者・支援者を結び、サポートする  
 学びにつながる・学びを引き出す相談支援  
 ○地域での学びの支援・交流促進  
 地域での学びのハブ  
 ○地域課題へのアプローチ（課題解決に向けた生涯学習の関わり）  
 地域を知るきっかけ、ニーズの把握  
 地域内の学びの資源がつながる、交流する  
 ○シチズンシップ/シビックプライドの醸成  
 シチズンシップ/シビックプライドを育む機会の提供

- ④第3期あかし教育プラン 2022(R4).2策定 2022～2030年度  
 下記に、「あかし教育プラン」で示されている内容でぶんばくに関連すると考えられるものを示します。〔 〕はプランに記載されている内容です。

#### テーマ1 子どもの学びの支援

- 方策2 新しい時代に対応した明石らしい教育を推進する  
 方策2-2 ふるさと教育及び文化・芸術教育の推進  
 「小学校社会科副読本「わたしたちの明石」の授業における活用、地域の文化遺産や遺跡などに子どもたちが直接触れ、地域の歴史や伝統文化を知り、体験できる教育活動を推進」  
 「文化・芸術にふれ、体験する機会を充実」  
 方策3 子どもの自主的で深い学びを支援する  
 方策3-1 自主的な学びへの支援  
 方策3-3 学習機会の創出

#### ⑤ぶんばくのあり方検討会の提言書(要約)

- 1 検討の経緯  
 (1)ぶんばくあり方検討会  
 2024年(令和6年)8月16日～2025年(令和7年)10月10日 全5回  
 (2)職員ヒヤリング  
 2024年(令和6年)10月11日～11月14日 職員・関係者25人より意見聴取  
 (3)職員意見交換会  
 2024年(令和6年)11月25日 職員15人参加  
 (3)市民ワークショップ  
 2025年(令和7年)2月2日 市民19人参加

#### 2 提言の内容

基本理念 「明石の「文化と歴史」の拠点 市民をつなぐ博物館」

#### 基本方針1 博物館固有の機能の強化

博物館の基本的な活動である、資料の収集・整理・保存・調査・研究・展示・教育普及（コミュニケーション）を、だれにでもやさしい博物館としての視点で、確実かつ安定的・継続的に行うこと。

#### 主な取組

- (1)博物館活動を安定的・継続的に行うための運営体制の見直し  
 (2)専門性を支える人材の確保と育成  
 (3)博物館収蔵品の一元的な管理体制と収蔵機能の確保  
 (4)博物館活動に必要なスペースの確保  
 (5)「登録博物館」への移行

#### 基本方針2 明石の文化と歴史を後世に伝える

これまでの明石の文化と歴史を市民に伝え、後世に継承していくため、博物館の役割である資料の収集と保管を確実に実行し、調査研究活動を充実させること。

企画のテーマと内容の精査、市内各所での展示、デジタル化など、市民に伝える方法を工夫し、明石の文化と歴史に関する資料と情報を確実に市民に届け、後世に伝えること。

#### 主な取組

- (1)多様な人々の興味をかきたてる多彩な企画の立案  
 (2)博物館活動を一人でも多くの人に届ける  
 (3)博物館の収蔵資料の現状調査と整理、情報登録、デジタル化と公開

#### 基本方針3 未来につながる明石の文化の発信と醸成

現代の明石の文化をはじめとする多様な文化や関連する活動をぶんばくから発信し、市民と共に新たな文化を醸成することにより、市民が明石への理解と愛着を深め、シビックプライドの形成につながる環境を整備すること。

#### 主な取組

- (1)博物館活動や多様な文化への理解を広げるプログラムの実施  
 (2)市内企業等とのコラボ・連携  
 (3)市民の創作・研究成果の発表への支援

#### 基本方針4 市民をつなぐ

「明石の文化と歴史」の拠点として、ぶんばくが、これまでの日常生活では出会わなかった多様な人々が言葉を交わし、共に活動し、学び合い、交流する場となり、市民と社会の文化的な豊かさを育むこと。

#### 主な取組

- (1)市民が博物館の運営に関わることができる仕組みの構築  
 (2)博物館体験プログラムの充実  
 (3)くつろぎ・交流・キッズスペースの整備

#### 3 今後のぶんばくに向けて 将来に向けた提言

主な取組のすべてをただちに進めていくことは困難ですが、とりわけ、管理運営体制の見直し、人材の確保と育成、収蔵機能の確保が優先されます。提言書をガイドラインとして関係者と連携し、取組を継続して進めることが必要です。

ぶんばくあり方検討会が考える、提言内容を実現するために必要な取組は以下の通りです。

- 1 博物館活動を熟知した外部有識者などによる伴走支援  
 2 ぶんばくの活動を見守り、評価し、助言する場の設置  
 3 明石の文化を継承し、醸成する関係者が意見を交わし、主な取組を共に進める場の設置  
 4 シンポジウムの開催など、市民への提言書の共有と、取組の推進状況の定期的な公開と発信

## 4. 過去の展覧会実績

ぶんぱくで開催した展覧会 1991(H3)～2024(R6) 34年間

★直 営 1991(H3)～2006(H18)

★指定管理 ① 2007(H19)～2009(H21) ② 2010(H22)～2012(H24) ③ 2013(H25)～2015(H27)

★業務分割 ④ 2016(H28)～2024(R6)

特別展/企画展	タイトル	年度
特別展	明石市立文化博物館開館記念 明石市・無錫市友好都市締結10周年記念中華人民共和国南京博物院・無錫市博物館特別展 江南の文物	1991
企画展	田中庸介氏カッパコレクションより 日本のカッパ展	1991
企画展	複製と模写でつづる名画 行ってみたい世界の美術館展	1991
特別展	生誕100年記念 大関コレクション 寺島紫明展 匂いたつ情感を描く	1992
企画展	郷土作家シリーズ 小倉健 陶芸の世界	1992
企画展	現代中国絵画展 悠久の美をもとめて	1992
企画展	海あがり展 古代のロマンいまここに	1992
特別展	明石城の歴史と文化	1992
企画展	大相撲展	1992
企画展	くらしのうつりかわり展	1992
特別展	現代京都画壇による源氏物語絵展	1993
企画展	模写と複製でつづる名画 行ってみたい世界の美術館展	1993
企画展	郷土作家シリーズ 高木雙吉展	1993
企画展	のびゆくあかし展 昭和編	1993
特別展	箱根・芦ノ湖 成川美術館所蔵 現代日本画名品展	1993
企画展	発掘された明石の歴史展 最近の発掘調査の成果から	1993
企画展	全国の凧と独楽展	1993
企画展	くらしのうつりかわり展 農家のくらし	1993
特別展	華麗なる浪漫の世界 高昌華宵展	1994
企画展	孫盛が描く 模写と複製でつづる名画 行ってみたい世界の美術館展	1994
企画展	郷土作家シリーズ 角田進 和船模型展	1994
企画展	吉野晴朗写真展 全国ふるさとの富士 北海道から九州まで	1994
特別展	開館3周年記念 フランス近代絵画の巨匠展 印象派エコール・ド・パリまで	1994
企画展	発掘された明石の歴史展 藤江別所遺跡	1994
企画展	音のでるおもちゃ展 ※震災のため1月16日で終了	1994
企画展	くらしのうつりかわり展 通信の歴史	1994
特別展	明治・大正・昭和 近代美人画名作展 女性の美 福富太郎コレクション	1995
企画展	村上暁人版画展	1995
企画展	郷土作家シリーズ 財田順子 和紙絵画展	1995
企画展	戦後50年 明石のあゆみ展	1995
特別展	松岡清次郎コレクション フランス印象派からエコール・ド・パリ展	1995
企画展	発掘された明石の歴史展 古墳時代の明石	1995
企画展	伝承の布遊び ちりめん細工展	1995
企画展	くらしのうつりかわり展 昭和初期のくらし	1995
特別展	現代日本画壇を代表する50人が描く 花博・花と緑の日本画展	1996
企画展	世界おもちゃ紀行展	1996
企画展	郷土作家シリーズ 兵庫を歩く 伊藤太一彫画展	1996
企画展	女性5人が描く 華麗なる絵画展	1996
特別展	開館5周年 栄光の近世ヨーロッパ絵画展 古典主義からバビルゾン派まで	1996
企画展	発掘された明石の歴史展 明石城武家屋敷跡	1996
特別展	中右コレクション 新春浮世絵名品展 師宣から歌麿、写楽、北斎、広重まで	1996
企画展	くらしのうつりかわり展 電化製品	1996
特別展	目黒雅叙園美術館コレクション 近代日本画名作展 雪・月・花	1997
企画展	明石海峡写真展 明石海峡大橋をのぞむ	1997
企画展	郷土作家シリーズ 石田一二絵画展 描きつづけて50年	1997
企画展	少年の夢を描き続ける異能の画家 小松崎茂展	1997
特別展	印象派と近代絵画の誕生展 モネからピカソまで	1997
企画展	発掘された明石の歴史展 明石原人と旧石器時代	1997
特別展	上村松篁が描く万葉の世界 井上靖著『額田女王』挿絵原画展	1997

企画展	くらしのうつりかわり展 たべる、あそぶ、だがしや	1997
特別展	さくらを描く日本画名作展 大観・玉堂から現代作家まで	1998
企画展	音のでるおもちゃ展 おもちゃが奏でる世界の音	1998
企画展	郷土作家シリーズ 児童文学作家 高浜直子の絵本展	1998
企画展	東アジアの古代屋瓦 日本屋瓦の源流	1998
特別展	印象派から20世紀への絵画名品展 ミレー・ルノワールの時代からマティス・ピカソの世紀へ	1998
企画展	発掘された明石の歴史展 明石のやきもの	1998
特別展	箱根・芦ノ湖 成川美術館所蔵 現代日本画名品展 多彩な現代日本画を春風にのせて	1998
企画展	くらしのうつりかわり展 住む	1998
特別展	清方と深水・紫明展 三巨匠の美人画を一堂に	1999
企画展	21世紀の日本洋画を担う 現代の精鋭作家たち展	1999
企画展	没後1年回顧展 村上暁人版画展 心に残る名作を一堂に	1999
企画展	橋ますみ絵画展 明石の自然を描く	1999
特別展	ミレー・コロー・クールベとバビロン派の画家たち展	1999
企画展	発掘された明石の歴史展 震災復興調査の成果から	1999
特別展	箱根・芦ノ湖 成川美術館所蔵 華麗なる日本画・牧進展	1999
企画展	くらしのうつりかわり展 衣の今・昔	1999
特別展	富士美術館コレクション 近代日本画名品展	2000
企画展	郷土作家シリーズ 広瀬安美絵画展 全国の民家を訪ねて	2000
特別展	写真家岩合光昭のスノーモンキー展 ニホンザルに見る日本の四季	2000
特別展	ジュネーヴ・プティ・パレ美術館所蔵 エコール・ド・パリ 1920展	2000
企画展	発掘された明石の歴史展 器と道具	2000
特別展	20世紀の陶芸 人間国宝の世界展	2000
企画展	くらしのうつりかわり展 くらしの音・学校の音・しごとの音	2000
特別展	開館10周年記念 松岡美術館所蔵 日本画名作展	2001
企画展	郷土作家シリーズ 上田陽愷日本画展	2001
企画展	世界のおもしろ玩具展 楽しい”しかけ”おもちゃ大集合	2001
特別展	明石市・無錫市友好都市提携20周年 文化博物館開館10周年 中華人民共和国南京博物院・無錫市博物館特別展 江南の文物 長江に育まれた悠久の歴史	2001
企画展	発掘された明石の歴史展 まちに眠る古代の姿	2001
特別展	永田萌 色彩のファンタジー展 夢は、なに色？	2001
企画展	くらしのうつりかわり展 あそびと学び	2001
特別展	山種美術館所蔵 現代日本画の自然美 花鳥と風景画を中心に	2002
企画展	植物画 芸術と科学の目で描く兵庫の植物	2002
企画展	「明石原人」の発見者 直良信夫生誕100年展	2002
特別展	華やぐバリの芸術家たち展 印象派、エコール・ド・パリから現代までの足跡をたどる	2002
企画展	郷土作家シリーズ 杉岡宗一 日本画展 自然美を描く	2002
特別展	風の画家 中島潔の世界展 日本のこころ、故郷のこころ	2002
企画展	くらしのうつりかわり展 電気製品の今・昔	2002
特別展	兵庫ゆかりの日本画家たち展 明治から現代までの軌跡をたどる	2003
企画展	郷土作家シリーズ 池内艸舟遺墨展 書と共に歩んだ人生	2003
企画展	河童展 田中庸介がみつけた河童の世界	2003
特別展	東京富士美術館所蔵 印象派と近代絵画の巨匠たち展 バビロン派からポップアートまで	2003
企画展	発掘された明石の歴史展 甦る明石城	2003
特別展	佐川美術館所蔵 平山郁夫展 シルクロード・東西文明の交流	2003
企画展	くらしのうつりかわり展 くらしを支えた道具とあかり	2003
特別展	水野美術館所蔵 日本の美を彩る三巨匠展 横山大観・菱田春草・川合玉堂	2004
企画展	発掘された明石の歴史展 太寺廃寺と高家寺	2004
企画展	渡辺うめ人形展 あぜみちの詩	2004
特別展	山寺・後藤美術館所蔵 ヨーロッパ絵画名作展 宮廷絵画からバビロン派へ	2004
企画展	郷土作家シリーズ 福田好克展 自然界の夜・フクロウと森	2004
企画展	明石焼と兵庫のやきもの 古窯から現代陶工までの名品展	2004
企画展	くらしのうつりかわり展 素材と形	2004
特別展	生誕120年記念 夢二郷土美術館所蔵 竹久夢二展	2005
企画展	郷土作家シリーズ 花房完昇展 幻想の詩情	2005
企画展	黒田由美子人形展 ほっこりと心をつつむ人形たち	2005
企画展	昆虫！大集合 明石と世界の昆虫たち	2005
企画展	或るコレクション展 絵画と彫刻	2005

特別展	有元利夫展 光と色・想い出を運ぶ人	2005
企画展	発掘された明石の歴史展 直良信夫と明石	2005
特別展	画業10周年記念 片岡鶴太郎展 夜桜	2005
企画展	くらしのうつりかわり展 昭和 あのころのねだん	2005
特別展	与勇輝展 心のふるさと	2006
企画展	郷土作家シリーズ 北村李軒展 南画にかけた歩みと交流	2006
企画展	よみがえる戦国展 甲冑・武具	2006
企画展	化石展 化石が語る生物の進化と太古の明石 ひとはくキャラバンin明石	2006
企画展	やきものコレクション名品展 古陶磁から現代陶芸まで	2006
特別展	生誕100年記念 須田剋太展 生命の賛歌	2006
企画展	発掘された明石の歴史展 最近の発掘調査の成果から	2006
特別展	くらしのうつりかわり展 昭和なつかし博覧会	2006
特別展	山種美術館所蔵 華麗なる美人画の世界	2007
企画展	郷土作家シリーズ 小原実知成展	2007
企画展	祝・百寿 渡辺うめ人形展	2007
企画展	古陶磁から現代陶芸まで 兵庫のやきものとその周辺	2007
特別展	木喰展 生誕290年 庶民の進行・微笑仏	2007
企画展	絵でみる考古学 早川和子原画展 (同時開催：発掘された明石の歴史展)	2007
特別展	遠き道展 はて無き精進の道程	2007
企画展	くらしのうつりかわり展 母べえとその時代-映画にみる昭和のくらし-	2007
特別展	石山寺の美 観音・紫式部・源氏物語	2008
企画展	自然と造形 小倉健 作陶展 (同時開催：兵庫の陶磁'08三田焼展)	2008
企画展	郷土作家シリーズ 桧山厚 写真展 橋をみつめて 第1部	2008
特別展	未来のくらしが見えてくる！ロボット大図鑑2008展	2008
企画展	郷土作家シリーズ 桧山厚 写真展 橋をみつめて 第2部	2008
特別展	日仏交流150周年・ドーム創業130周年「創造する伝統ドーム ガラスの美展」	2008
企画展	発掘された明石の歴史展 法道仙人と行基菩薩の時代	2008
特別展	日本抽象のパイオニア 長谷川三郎展	2008
企画展	くらしのうつりかわり展 団地の時代 明舞団地誕生	2008
特別展	日本画 描かれた日本の心 文化勲章受章の巨匠38人による	2009
企画展	郷土作家シリーズ 没後10年 正井和行展 月影さやかに、静かなる心象	2009
企画展	明石市市制90周年・明石城築城390周年記念 大坂夏の陣と明石藩成立(同時開催：いつか見た蒼い空 須銅秀和展)	2009
企画展	白の彩 永澤永信展 (同時開催：兵庫の陶磁'09 煎茶の器展)	2009
特別展	山形美術館服部コレクション 美のプロムナード 20世紀フランス絵画の精髓	2009
企画展	発掘された明石の歴史展 明石の狩人 明石原人から縄文人へ	2009
特別展	CoBrAを超えた太陽の画家 中島由夫展	2009
企画展	くらしのうつりかわり展 むかし遊びとおもちゃ	2009
特別展	20世紀絵画の巨匠 ピカソ 円熟期の版画展	2010
企画展	天地をひらく 豊穡の女神の世界 松本雄治彫刻展	2010
企画展	月照寺の至宝 江戸時代の柿本人麿信仰	2010
特別展	小梅の初恋から40年 叙情の世界 林静一展	2010
企画展	明石市「ほん だいすき!プラン」連携 もーやんえっちゃん えほんだいすき 元永定正・中辻悦子絵本原画展	2010
特別展	描くひみつ、画家のすがお パレットと絵画の展覧会	2010
企画展	発掘された明石の歴史展 明石の弥生人	2010
特別展	広重と北斎の東海道五十三次と浮世絵名品展 歌麿・写楽から幕末バラエティーまで	2010
企画展	くらしのうつりかわり展 あかしさんちのいちにち	2010
特別展	親鸞聖人750回忌記念企画 親鸞展	2011
企画展	郷土作家シリーズ 釉彩陶芸の美 小倉千尋展 (同時開催：酒と器-明石酒造の歴史展-)	2011
特別展	放浪の天才画家 山下清展	2011
企画展	開館20周年記念 企画展 館収蔵品展 絵画と書の世界	2011
特別展	ジュディ・オング倩玉 木版画の世界展	2011
企画展	発掘された明石の歴史展 明石の古墳	2011
特別展	金箔芸術の美 截金の人間国宝展 齋田梅亭と西出大三	2011
企画展	くらしのうつりかわり展 見たり、聞いたり、読んだり	2011
特別展	平山郁夫展 次世代への伝言	2012
企画展	館収蔵品展II 海がつなぐひととひと	2012
特別展	アン・グッドマン&ゲオルグ・ハレンスレーベンの世界 リサとガスパール&ペネロペ展	2012

企画展	郷土作家シリーズ 生誕120年記念 寺島紫明の素描 画家のまなざし	2012
特別展	ウィリアム・モリス展 ステンドグラス・テキスタイル・壁紙・デザイン	2012
企画展	発掘された明石の歴史展 明石の古墳Ⅱ	2012
特別展	生誕130年 魯山人の宇宙	2012
企画展	くらしのうつりかわり展 モノのねだん。コレいくら?	2012
テーマ展示	松平家・黒田家旧蔵資料受贈記念速報展「明石藩の世界」	2012
特別展	画家 安野光雅の世界展	2013
企画展	郷土作家シリーズ 明石の森とふくろう 福田好克展	2013
特別展	博物館が大変身! 光の魔法とあそぼう 魔法の美術館	2013
企画展	明石藩の世界Ⅰ 文書と絵画	2013
企画展	絵本作家 たかいよしかず・たなかしん 二人展	2013
企画展	発掘された明石の歴史展 明石の古代	2013
特別展	黄金期の浮世絵 歌麿とその時代	2013
企画展	くらしのうつりかわり展 昭和の食と台所	2013
特別展	明石市制95周年記念 絵画でめぐる 京都・美の探訪	2014
企画展	明石市制95周年記念 郷土作家シリーズ 生誕100年 池内舂舟・山口南艸展 かな書の心を紡いで	2014
特別展	明石市制95周年記念 エッシャー100選 だまし絵の奇才が創る無限の世界	2014
企画展	明石藩の世界Ⅱ 藩士の日常	2014
企画展	発掘された明石の歴史展 明石の古代Ⅱ	2014
特別展	岩合光昭写真展 ねこ	2014
企画展	くらしのうつりかわり展 戦時下のくらしと復興	2014
特別展	高橋由一から藤島武二まで 日本近代洋画への道 山岡コレクションを中心に	2015
企画展	新収蔵品展 平成22年度から平成26年度収蔵資料を中心に(同時開催: 阪神・淡路大震災20年「明石ゆかりの作家による震災画」)	2015
特別展	ちひろ美術館コレクション ちひろと世界の絵本画家たち	2015
特別展	橋本海関・閑雪展 父子の歩み	2015
企画展	発掘された明石の歴史展 明石の中世	2015
企画展	明石藩の世界Ⅲ 藩主と藩士	2015
企画展	くらしのうつりかわり展 夏と冬のしたく	2015
特別展	生頼範義展 THE ILLUSTRATOR スター・ウォーズ、ゴジラを描いた巨匠の軌跡	2016
企画展	郷土作家シリーズ 石田一二のみた風景 洋画家の旅路	2016
特別展	江戸の遊び絵づくし おはつです! 笑って遊べる浮世絵、ここに参上。	2016
企画展	明石藩の世界Ⅳ 藩領の村々と大庄屋	2016
企画展	発掘された明石の歴史展 明石の中世Ⅱ	2016
特別展	艶美の競演 東西の美しき女性 木原文庫より	2016
企画展	くらしのうつりかわり展 道具の知恵と工夫	2016
特別展	いいから いいから 長谷川義史の世界展	2017
企画展	郷土作家シリーズ 明石巡り 作品でみる明石のええとこ	2017
特別展	オバケ絵大博覧会	2017
企画展	明石藩の世界Ⅴ 明石藩の幕末維新	2017
	第1回 あかし若手アートチャレンジ	2017
企画展	発掘された明石の歴史展 明石の近世	2017
特別展	おかざき世界子ども美術博物館所蔵 天才たちの青春 世界の巨匠が子どもだったころ	2017
企画展	くらしのうつりかわり展 家事のさしすせそ	2017
特別展	誕生50周年 リカちゃん展	2018
企画展	郷土作家シリーズ 佐々木猛作品展 遊び心と土と筆	2018
特別展	特撮のDNA展 平成に受け継がれた特撮"匠の夢"	2018
企画展	明石藩の世界Ⅵ 藩領を行き交う人とモノ	2018
	第2回 あかし若手アートチャレンジ	2018
企画展	発掘された明石の歴史展 明石の近世Ⅱ	2018
特別展	大正浪漫 グラフィックデザイナーの原点 竹久夢二	2018
企画展	企画展 くらしのうつりかわり展 これ何でできているの? 素材と技	2018
特別展	江口寿史イラストレーション展 彼女	2019
企画展	明石市制施行100周年記念 郷土作家シリーズ 明石市100年の日本画家 静かな時間と生気あふれる一瞬	2019
特別展	恐竜ワールド 生物進化の大冒険	2019
企画展	明石市制施行100周年記念 明石藩の世界Ⅶ 城と明石の400年	2019
企画展	発掘された明石の歴史展 発掘された明石の至宝	2019
特別展	138億光年 宇宙の旅 驚異の美しさで迫る宇宙観測のフロンティア	2019

企画展	くらしのうつりかわり展 子どもの頃の記憶	2019
特別展	あんびるやすこ作品展 ※コロナウイルス感染症のため一時休館	2020
企画展	いきものみつけた! 作品の中のいきものたち	2020
特別展	シルバニアファミリー展	2020
企画展	明石藩の世界VIII 米と酒づくり	2020
	第3回 あかし若手アートチャレンジ	2020
企画展	発掘された明石の歴史展 明石の港津	2020
特別展	生誕130周年記念 堂本印象展	2020
企画展	くらしのうつりかわり展 米づくりの春夏秋冬	2020
特別展	浦上コレクション 北斎漫画 ※コロナウイルス感染症のため一時休館	2021
企画展	開館30周年記念 明石ゆかりの名品展 絵・陶・漆 多彩な世界	2021
特別展	美術館に行こう! ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方	2021
企画展	明石藩の世界IX 幕末維新と人々の暮らし	2021
	第4回 あかし若手アートチャレンジ	2021
企画展	発掘された明石の歴史展 明石の古道と駅・宿	2021
企画展	開館30周年記念 明石ゆかりの名品展 絵・陶・漆 多彩な世界	2021
企画展	明石の布団太鼓	2021
企画展	くらしのうつりかわり展 海辺の生活	2021
特別展	岩合光昭 写真展 PANTANAL パンタナール 清流がつむぐ動物たちの大湿原	2022
企画展	明石の木造船	2022
特別展	あんびるやすこ作品展	2022
企画展	明石藩の世界X 漁場の利用 水・耕地の利用	2022
	第5回 あかし若手アートチャレンジ	2022
企画展	発掘された明石の歴史展 明石の墓と祭祀	2022
企画展	郷土作家シリーズ 二つの展示	2022
企画展	くらしのうつりかわり展 おいしいごはんができるまで	2022
特別展	写真家が捉えた 昭和のこども	2023
企画展	柿本人麿と明石 歌・信仰・文化	2023
特別展	安野光雅美術館コレクション 安野先生のふしぎな学校	2023
企画展	企画展 明石藩の世界XI 明石藩の懐事情	2023
	第6回 あかし若手アートチャレンジ	2023
企画展	発掘された明石の歴史展 明石の古窯とやきもの・瓦	2023
企画展	古陶と絵画の名品 平井コレクションを中心に	2023
企画展	くらしのうつりかわり展 小学校生活編	2024
特別展	エルマーのぼうけん展	2024
企画展	東二見 横河家の功績 大坂の陣から近代建築まで	2024
特別展	迷路遊びからお城イラストへ 香川元太郎の作品世界	2024
企画展	明石藩の世界XII 藩主忠国が創った『源氏物語』遺跡と俳諧文学	2024
	第7回 あかし若手アートチャレンジ「あなたに届け」	2024
企画展	発掘された明石の歴史展 明石の寺院跡	2024
企画展	明石の布団太鼓II 彫刻と刺繍に見る匠の技	2024
企画展	郷土作家シリーズ 村上翔雲展 現代の書道の姿	2024
企画展	くらしのうつりかわり展 多聞新八がえがいた昔の明石	2024
特別展	いわさきちひろ×plaplax あれこれのち	2025
企画展	生誕140年 横山屋楼展 俳句と巡る四季	2025
特別展	そうぞうのかげら 砂で紡ぐたなかしんの物語	2025
企画展	明石藩の世界13 明石で華ひらく知と美の世界 蛭巖・華山が遺したもの	2025
	第8回 あかし若手アートチャレンジ「自画像」	2025
企画展	発掘された明石の歴史展 船上城から明石城へ	2025
企画展	くらしのうつりかわり展 人と道具のあゆんできた道	2025

5. 来館者数推移

年度	開館 日数	来館者内訳								(内団体)				合計	前年比 %	累計	
		大人 (内無料)	大学・ 高校生 (内無料)	中学・ 小学生 (内無料)	未就学 児童	高齢者	障害者 (大人)	障害者 (中高)	障害者 (中小)	その他	大人	大学・ 高校生	中学・ 小学生				未就学 児童
H3	137	18,539 (1,903)	889	4,392 (111)		0	0	0	0		2,067	4	4,978		30,869		30,869
H4	295	35,015 (6,461)	1,603	11,477 (7,571)		1,872	326	4	14		2,635	384	6,842		60,172	194.9%	91,041
H5	295	33,884 (7,128)	1,320	7,335 (4,487)		2,372	480	1	19		806	45	9,153		55,415	92.1%	146,456
H6	254	32,733 (8,508)	1,662	4,664 (2,750)		2,716	392	1	15		499	461	4,385		47,528	85.8%	193,984
H7	296	39,202 (9,448)	1,689	6,129 (3,060)		4,106	685	16	13		659	732	6,066		59,297	124.8%	253,281
H8	294	41,153 (13,957)	1,515	5,020 (2,317)		4,265	509	47	13		646	265	6,897		60,330	101.7%	313,611
H9	296	43,546 (15,657)	1,348	3,975 (1,590)		4,761	561	15	3		715	152	8,087		63,163	104.7%	376,774
H10	300	40,263 (16,017)	1,030	3,428 (1,693)		4,402	613	1	10		747	196	7,940		58,630	92.8%	435,404
H11	299	40,723 (17,030)	1,190	3,131 (1,557)		5,336	713	3	8		995	558	8,712		61,369	104.7%	496,773
H12	296	36,894 (15,162)	784 (8)	2,778 (1,320)		5,214	660	2	10	138	495	204	8,987		56,166	91.5%	552,939
H13	294	31,965 (14,033)	704 (2)	3,609 (2,127)		5,285	625	0	9		723	258	9,437		52,615	93.7%	605,554
H14	297	40,941 (18,613)	855 (1)	3,206 (2,070)		7,707	965	27	9		382	362	7,356		61,810	117.5%	667,364
H15	299	42,106 (20,015)	770 (8)	3,734 (2,895)		9,261	848	13	11		802	99	8,505		66,149	107.0%	733,513
H16	299	40,378 (18,218)	658 (1)	2,806 (2,266)		11,923	1,006	3	6		1,017	25	9,433		67,255	101.7%	800,768
H17	298	56,646 (22,743)	955 (0)	5,538 (4,549)		15,141	1,641	16	23		781	169	9,370		90,280	134.2%	891,048
H18	297	51,079 (18,211)	907 (0)	5,996 (4,727)		17,015	1,802	23	17		2,558	94	9,709		89,200	98.8%	980,248
H19	324	30,438 (13,893)	589 (0)	2,488 (1,845)		14,342	1,206	15	7		4,159	46	9,286		62,576	70.2%	1,042,824
H20	336	25,343 (15,668)	610 (3)	4,625 (3,892)		7,308	881	14	11		3,912	141	7,220		50,065	80.0%	1,092,889
H21	335	26,559 (17,530)	524 (13)	2,243 (1,879)		9,541	1,035	6	9		5,339	76	6,128		51,460	102.8%	1,144,349
H22	333	37,432 (24,856)	1,050 (14)	4,064 (3,573)	1,389	10,453	993	30	19	514	5,828	67	5,510	186	67,535	131.2%	1,211,884
H23	335	52,569 (33,699)	859 (33)	6,972 (5,798)	2,962	32,372	4,333	62	55	1,193	27,420	453	6,787	0	136,037	201.4%	1,347,921
H24	330	40,133 (26,466)	969 (12)	4,124 (3,019)	3,930	18,170	1,841	30	46	0	15,410	453	7,078	0	92,184	67.8%	1,440,105
H25	333	31,157 (19,440)	689 (13)	10,703	5,923	15,323	1,870	64	0	0	14,363	369	5,446	0	85,907	93.2%	1,526,012
H26	332	36,649 (21,371)	1,148 (18)	8,577	2,584	15,030	1,855	42	0	0	22,988	739	6,026	0	95,638	111.3%	1,621,650
H27	333	22,392 (16,043)	461 (7)	3,732	2,020	10,724	1,497	10	0	0	7,255	251	4,878	0	53,220	55.6%	1,674,870
H28	331	24,785 (11,686)	639 (12)	8,497	1,944	9,649 (3,344)	1,268	37			272		4,545		46,819	88.0%	1,721,689
H29	331	29,718 (13,705)	656 (43)	13,917	5,742	13,407 (7,009)	1,705	16			155	93	7,968	2273	65,161	139.2%	1,786,850
H30	332	41,692 (12,880)	1,424 (64)	15,752	8,469	13,148 (7,352)	2,782	71			401	83	4,257	55	83,338	127.9%	1,870,188
H31/R1	332	38,689 (11,696)	1,359 (68)	15,651	11,394	11,113 (6,257)	1,982	47			252	73	2,606	0	80,235	96.3%	1,950,423
R2	293	18,747 (5,927)	834 (7)	4,891	4,582	5,511 (3,322)	1,021	23			89	33	1,067	0	35,609	44.4%	1,986,032
R3	305	16,892 (5,112)	1,059 (4)	3,602	2,454	5,698 (3,505)	732	16			97	20	950	0	30,453	85.5%	2,016,485
R4	321	18,844 (7,705)	939 (35)	9,071	4,118	8,183 (4,721)	1,036	31			173	23	2,805	0	42,222	138.6%	2,058,707
R5	322	18,968 (6,282)	770 (77)	9,623	3,702	10,164 (5,327)	1,242	20			211	20	3,357	0	44,489	105.4%	2,103,196
R6	324	26,265 (7,164)	991 (10)	11,920	6,189	8,240 (4,080)	1,452	35			269	33	2,973	11	55,092	123.8%	2,158,288
R7	324	19,534 (6,440)	1,014 (88)	9,104	3,481	9,764 (4,903)	1,454	34			221	94	2,877	49	47,626	86.4%	2,205,914
平均	307														63,026		

# Akashi City Museum of Culture 2025

## Credit title

明石市

文化財担当

池田一峰(課長)、田川聡司(係長)、原口聡(主任)、稲原昭嘉、  
谷川真基、中原紀代美、下城友祐、湯本整、井上貴文、上岡峻輔、  
宇野佳子、岸真理子

文化財資料整理員

松本嘉子、園原多久美、塩見千春、尾仲由実、中塚美緒、嶺岡美見

市史編さん担当

濱室かの子、小林愛恵、諏訪亮大、坂田一史、米田朋子、

八木由希子

学芸担当

木村亜紀子(主任)、竹本泰之、吉本由梨香、西本暢子、須貝隆弘、

義根益美、富山広美

指定管理者

企画事業課

武井二葉、北野恭子、中山真由美、山口正貴、原田愛子

総務課

荒川楓、井上直子、山本香央里

受付担当

小嶋京子、藤井友美、吉永尚美、小西朱美、錦芽亜里

設備管理担当

桑原健夫(設備担当係長)、池田均、出石明敏

清掃担当

中村悦子、藺畠ヨシ子、中村富久江、小川さち子、岡田恵子、

奥田千秋

警備担当

桑岡平三郎、鳥羽浩治、政岡直幸

ボランティア

浅井真弓、池田隆一、石田秀幸、石橋都子、板惠美、井上寿美子、  
岩崎三彌太、榎本真知子、大山まゆか、小川万里、尾寄久子、  
加藤京子、神田朝子、岸美佐子、木村親弘、黒川節子、小池英隆、  
小松愛子、権藤博史、櫻井貴美子、澤田一由、高木光代、高瀬真弓、  
多賀谷香、竹田博美、橘敏光、田淵鈴枝、長尾京子、中島達夫、  
中村芳雄、中安孝弘、名坂ひろみ、新名千嘉子、橋尾温子、  
服部とし子、羽藤幸代、平井静子、藤井悠子、藤本真知子、  
淵野節子、増田都子、梶田吉雄、松浦義隆、丸本登代子、  
八百美知子、矢嶋英子、吉川千賀子

MUSEUM PLAYER!

安藝雅美、後川里子、新井真紀、石井靖彦、大内純子、岡本幹子、  
檜原加歩、瀬尾紬、田頭昌美、土田トキ、寺嶋圭子、土井敏郎、  
内藤凜、永田恵理子、橋本美由起、藤川怜、三浦久美子、山田洋見、  
渡邊輝子、渡辺美佐

海鮮フレンチまるせいゆ

## 明石市立文化博物館 年報 (2025)

2025 Annual Report Akashi City Museum of Culture

2026年3月31日

編集・発行 明石市立文化博物館

デザイン・印刷 株式会社ロータリービジネス

